



市ホームページ内フォトギャラリーや公式ツイッターでもまちの話題を紹介しています!



▲琉球朝顔
(オーシャンブルー)



危険物災害防止を啓発する広報車両



市建設業協力会による防災訓練

建設部防災訓練

7月7日、平島町および東末広地内にて、市と市建設業協力会による防災訓練が行われました。この訓練は、集中豪雨などによる洪水被害に対する防災体制の確立や住民生活の被害を最小限にとどめることを目的に行われました。平島町地内では、水中ポンプや操作盤、発電機を設置し、実際に排水訓練を行い、東末広地内では、発電機を用いた停電時における下水処理場の稼働訓練を行いました。

危険物災害予防車両パレード

6月2日、市役所にて、海部南部危険物安全協会による危険物災害予防車両パレードが行われました。この取り組みは、6月の危険物安全週間に伴い、危険物の保安に対する意識の高揚と啓発を推進するために行われました。

やとみ金魚すくい

7月21日、28日、市内保育所にて、やとみ金魚すくいが行われました。

これは、弥富金魚漁業協同組合の協力のもと、毎年子どもたちに「弥富金魚」に親しんでもらうためのイベントです。

子どもたちは、大小さまざまな金魚に悪戦苦闘しながら楽しそうに金魚すくいをしました。一番大きい金魚に挑戦し見事すくえた子どもたちはとても嬉しそうでした。



金魚すくいに挑戦する子どもたち



来賓の皆さんによるテープカット

あいち米初出荷式

8月11日、JA あいち海部鍋田支店集出荷場にて、令和2年産あいち米初出荷式が行われました。

市は、昭和34年9月に発生した伊勢湾台風で大きな被害を受けたことから、台風シーズンになる前に刈り取る「早場米」が盛んに行われ、県下トップで出荷されます。

今年は、7月中旬の大雨や長梅雨による日照不足により、収穫・品質への影響が心配されましたが、生産者の栽培努力、品質管理の結果、作柄は平年並みで品質は良好とのことでした。

やとみ歴史探訪

このコーナーでは、弥富市のまだまだ知られざる歴史について、弥富ふるさとガイドボランティアが紹介していきます。

服部家住宅

織田信長との戦乱後の天正年間、服部家の初代正友は荷之上に居を構えました。そして、離散していた百姓らを集めて村の再興に尽力しました。

服部家は江戸時代には代々近郷の総庄屋を務めた旧家で、尾張藩より苗字帯刀を許されていました。また、尾張津島天王祭の朝祭では「市江車」の車屋をつかさどっています。

現在残っている主屋は400年以上前の天正年間に建てられたと伝わっていて、県内でも有数の古い民家です。昭和49年に主屋のほか表門、離れ座敷、文庫蔵などが国の重要文化財に指定されています。

※見学には予約が必要です。歴史民俗資料館までお問い合わせください。



▲服部家住宅

ちょっと一息
“防災”

防災クイズに挑戦してみませんか?

問題 新型コロナウイルス感染防止で正しくない行動はどれでしょうか

① 運動不足の解消のため、
すいた時間に公園で
運動をする。

② 電車などの中では、
会話を控えめに
しましょう。

③ 暑い日に、
外で運動する時も、
マスクをつける。

答えはP12の下をご覧ください。

※ 気温・湿度の高い中でマスク着用は熱中症のリスクを高める場合があります。外で人と十分な距離(2メートル以上)を確保できる場合には、マスクを外すこともありますが、